
中国情報 (WTO/FTA・貿易・安全・その他)

2009年3月19日号

©2009年1～2月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年1～2月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内トウモロコシ価格は安定を待望

2009年1月の生産地、消費地のトウモロコシ卸売価格は引き続き下落したものの、その落勢はやや緩慢となった。2月にはトウモロコシ価格の安定を期待する兆しがあり、生産地の平均卸売価格は1トン当たり1,386元、前月比0.3%安・前年同月比11.8%安となった。消費地の同価格は1,634元、前月比0.2%安・前年同月比16.1%安となった。

2 国際トウモロコシ価格は再び下落

国際トウモロコシ価格は、昨年6か月連続で大幅に下落した後、1月には小幅に反発するも、2月には世界的な経済悪化や低水準で推移する原油価格の影響などを受け、再び下落に転じた。米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり164ドル、前月比5.1%安・前年同月比25.6%安で、2008年以降2番目の低水準となった。シカゴ先物価格は141ドル、前月比8.3%安・前年同月比31%安で、2008年以降最低の価格水準となった。

3 国際価格は国内価格を下回るも、通関渡し価格は国内市場を上回る

2009年1月及び2月の米国産トウモロコシFOB価格をそれぞれ1トン当たり1,182元

及び1,121元とすると、国内生産地の卸売価格に比べ209元及び265元低い水準となった。国際価格及び海上輸送費の反発などの影響を受け、1月分及び2月分の国際トウモロコシ通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は、再び国内市場価格を上回る水準となった。1月及び2月の広州黄埔港における輸入トウモロコシの通関渡し価格を、それぞれ1トン当たり1,653元及び1,658元とすると、同時期の東北のトウモロコシの国内港到着価格をそれぞれ71元及び98元上回った。

- 4 2008年の中国のトウモロコシ輸出は大幅減、輸入量は小さいながらも増加幅は大海関統計によると、2008年の中国のトウモロコシ輸出量は25.2万トンと、前年比94.9%減と大幅に減少し、1996年以来最低水準を更新した。輸入量は4.9万となったものの、その増加幅は前年比39.7%増となった。

5 世界のトウモロコシ需給はやや改善

国際穀物理事会（I G C）の予測によると、2008年の世界のトウモロコシ生産量は前年比0.1%増の7.88億トンと見積もられている。同じく消費量は0.8%増の7.79億トン、在庫量は1.39億トンで、在庫消費比は国連食糧農業機関（F A O）が安全水準としている17%を上回る17.8%と予測されている。